平成２５年度ＩＳＯ/ＴＣ４６ 国内委員会第１回本委員会

議 事 録

日 時 ： 平成２５年 ７月２２日(金) １０時００分～１１時３０分 場 所 ： 文京シビックセンター5 階 会議室Ｂ

出 席 者 ： 委 員 長 菅野 育子 愛知淑徳大学

委 員 宮澤 彰 国立情報学研究所

植村 八潮 一般社団法人電子出版制作・流通協議会

永田 治樹 立教大学

佐藤 尚子 国立国会図書館

中島 康比古 国立公文書館

樋口 清一 社団法人日本書籍出版協会

原田 智子 社団法人情報科学技術協会

オブザーバ 川瀬 直人 国立国会図書館

関係者 亀山 孝広 経済産業省

事務局 小野寺夏生 一般社団法人情報科学技術協会

日夏 健一 一般社団法人情報科学技術協会

光富 健一 一般社団法人情報科学技術協会

鈴木 吉之 一般社団法人情報科学技術協会

オブザーバ 木元 和宏 一般財団法人日本規格協会

(敬称略・順不同)

配布資料 ： （資料１） 平成 25 年度実施計画書

（資料２） 平成 25 年度ISO/TC46 国内委員会構成(案)

（資料３） 平成 25 年度 ISO/TC46 投票案件について

（資料４） 平成 25 年度 ISO/TC46 審議案件について

（資料５－１） ISO/TC46 WG2WG3 会議出席報告（宮澤彰）

（資料５－２） ISO/TC46/SC4 会議出席報告（川瀬直人）

（資料５－３） ISO/TC46/SC9 会議出席報告（菅野育子）

（資料５－４） 2013SC11 パリ総会報告（保坂裕興）

（資料５－５） ISO/TC46 総会(closingmeeting) 出席報告（菅野育子）

（資料６） UniqueItemIdentifieNr WIP の SC9 移行について（宮澤彰）

前回議事録の確認 前回議事録の確認を行い、承認された。

議 事：

１．平成 25 年度実施計画書について（資料１）

事務局より、資料に基づき、TC46「情報とドキュメンテーションに関する国際標準化」に関する、

平成 25 年度実施計画について、説明があった。

２．平成 25 年度 ISO/TC46 国内委員会について（資料２）

事務局より、資料に基づき、平成 25 年度 ISO/TC46 の委員会構成と、本委員会構成メンバーの説明

があり、自己紹介を行った。

３．平成 25 年度の ISO/TC46 投票報告について（資料３）

事務局より、資料に基づき、2013 年 4 月以降、以下の投票を行ったとの説明があった。

① ISO/CD5127Informatio nanddocumentation — Vocabulary

② Ballootntheinteresotf TCtoreactivateSC10

③ N2441RequesftromISBNto becomA-categoryliaison

④ ISO/FDIS3166-1(Ed3C) odesfortherepres entationonf amesocfountriesandtheir

subdivisions-P- ar1tC: ountrycodes

⑤ ISO/FDIS3166-2(Ed3C) odesfortherepres entationonf amesocfountriesandtheir subdivisions-P- ar2tC: ountrysubdivisioncode

⑥ ISO/FDIS3166-3(Ed2C) odesfortherepres entationonf amesocfountriesandtheir

subdivisions-P- ar3tC: odefor formerlyusednamesocfountries

４．平成 25 年度 ISO/TC46 投票案件について（資料４） 事務局から、資料に基づき、以下の投票審議案件についての報告があった。

① ISO/CD7098Informationanddocu mentation-R- omanizationoCf hinese （締 切日 2013/11/05）

審議の結果、回答については、締切日までに対応することになった。

５．ISO/TC46 パリ総会状況報告について パリ総会に出席した各委員より、資料に基づき、以下の報告があった。

（１）ISO/TC46WG2WG3 会議出席報告（資料５－１）

・WG2 は国名コードに関する WG で、問題点として次のことがある。1) 50 年というリザーブ期間は

短すぎる。2) 国名との "visual association”という原則は妥当か？ 3) 国名との "visual

association”という原則は妥当か？ これらの検討課題が確認された。

・WG3 は翻字およびローマ字化の WG で、現在抱えている問題は中国語に関してである。

（２）ISO/TC46/SC4 会議出席報告（資料５－２）

・2 つの WG と総会が開催された。

・WG14 は新しい ILL を作るグループであり、これまでの検討経緯と CD を検討する際の Keyissues

について検討した。

・WG11 は図書館で使う RFID についての規格を検討する WG である。日本提案の ISO 28560-5

はその提案が通らず、ISO28560 から切り離して、SC9 に移すことを WG11 から提案することが

了承された。

・ISBNAgency が SC4 のリエゾンになった。

・ISO23950 は広く使われている。一方、SRU は OASIS 標準となり、OASIS も SRU の ISO 化に

肯定的であり、ISO 化に向けて検討を進める。

・DCTerms の FasTt rack での ISO 化を進めるため、DublinCoreMetadataInitiative とリエゾ

ンを確立した。

・AFNOR からアーカイブ情報の交換に関して、検討中の規格（MEDONA）についてプレゼンが

あった。

（３）ISO/TC46/SC9 会議出席報告（資料５－３）

・SC9/WG11 ISO/CD17316 Internationasl tandarddocumentlink は、中国からの提案であ

るが、DIS 段階 5 月 16 日投票結果からコメントへの対応を検討したが，７章と付録 C の修正

がかなり難しい。しかし、2015 年に IS 化を目標としている。

・ISO3901InternationaSl tandardRecordingCode(ISRC) の改定が始まっている。

・2013 年、2014 年 Systematicreviews が 8 件報告されている。

・ISO2108:2005,Informatio nanddocumentation– Internationalstandardbooknumber

(ISBN[)lasctonfirmation2008-12-15] について、InternationaIlSBNAgency からの要請に従

って、SC9 は改訂作業の準備を行うこととした。

（４）2013SC11 パリ総会報告（資料５－４）

・口頭での説明はなく、資料の内容について、各自資料に目を通していただくこと

になった。

（５）ISO/TC46 総会(closingmeeting) 出席報告（資料５－５）

・WG7 Presentationopf eriodicals は雑誌の電子出版に関する GW で、TC46 は出版界の専門家

選出を依頼する。

・SC10（紙の保存に関する SC）の再設立をすることがほぼ決定した。

６．UniqueItemIdentifierNWIP の SC9 移行について（資料６）資料に基づき、UniqueItemIdentifieNr WIP の SC9 移行について、以下の報告が あった。

・NWIP 28560-5 Information and documentation -- RFID in libraries -- Part 5: unique item identifier (UII) for libraries は，日本が TC46/SC4 に提出し 2012-09-01 の投票で NWIP とし て登録されたが、WG での検討の結果、UHF 帯 RFID での UII の規定は 28560-4 にもりこまれ，28560-5 は独立した新しい WI とすべきというものであった。これに沿って，2013-06-06 の TC46/SC4 総会 において、SC9 からの NWIP 提出が推奨された。

７．その他

事務局より、TC46 共有ファイル「どこでもキャビネット」の紹介を、プロジェクタを使って行っ

た。